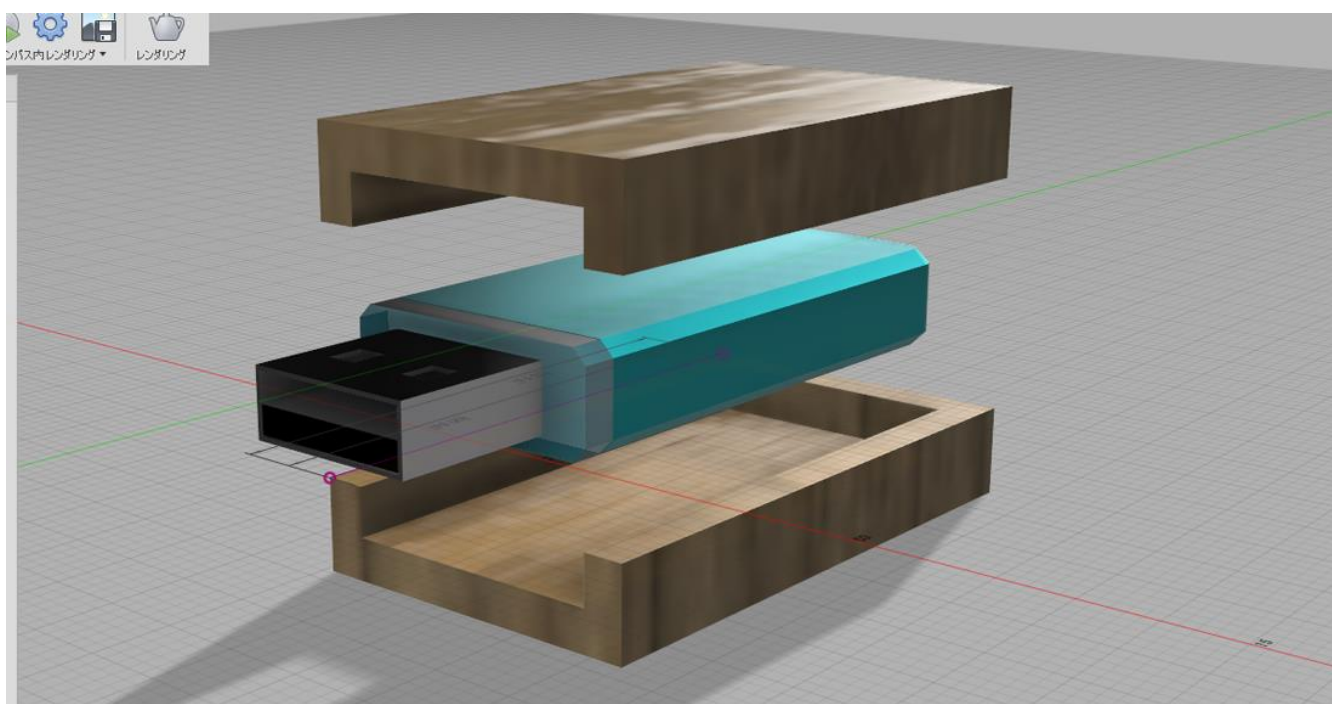


Fusion 360 の CAM 機能を使ってみよう



目次

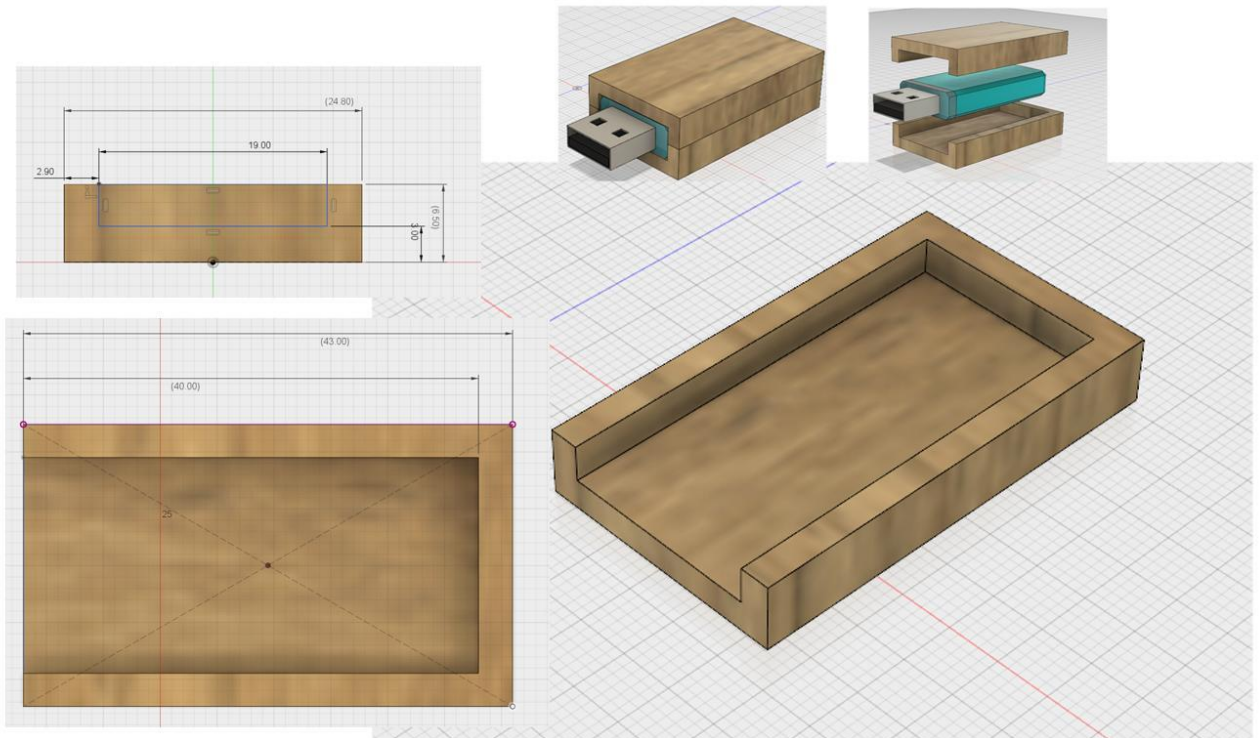
1. 切削加工のシミュレーションをする

1. 切削加工のシミュレーションをする

1 切削加工したいモデルを作る

任意のモデルを作業平面上に配置してください。
ここでは USB メモリにはめこんで使えるカバーを参考にします。

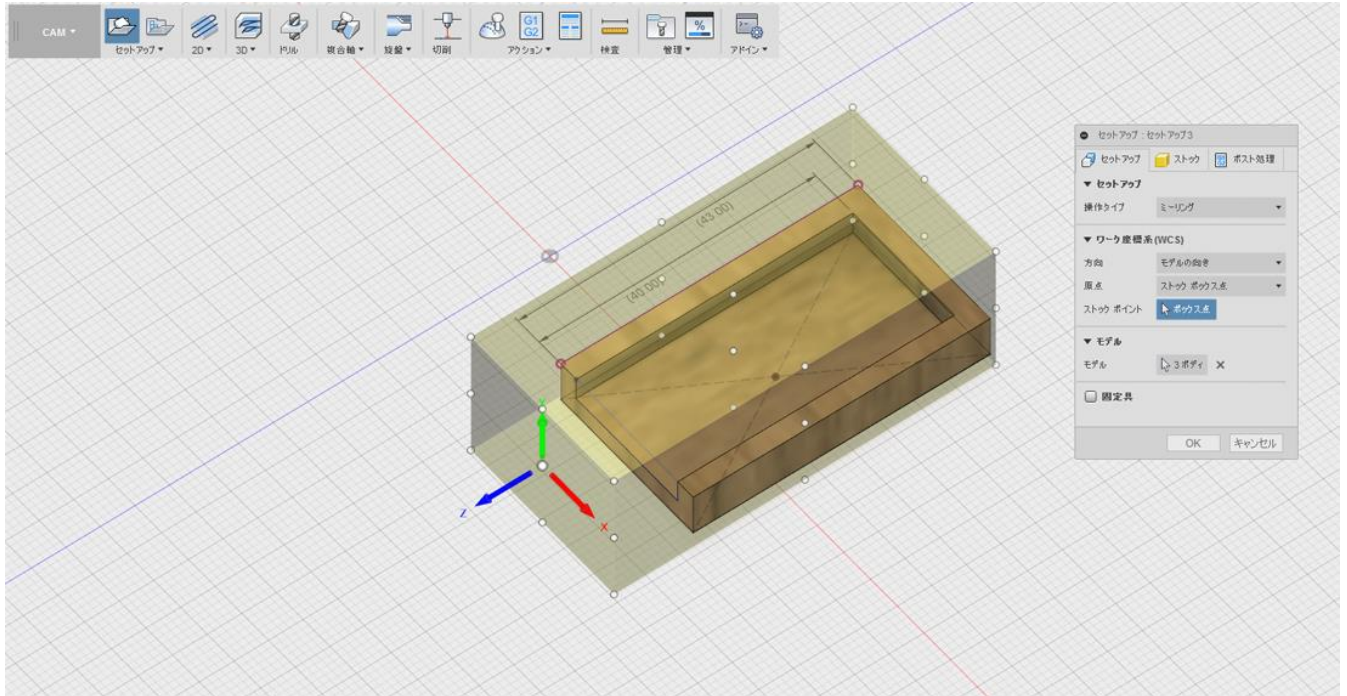
●



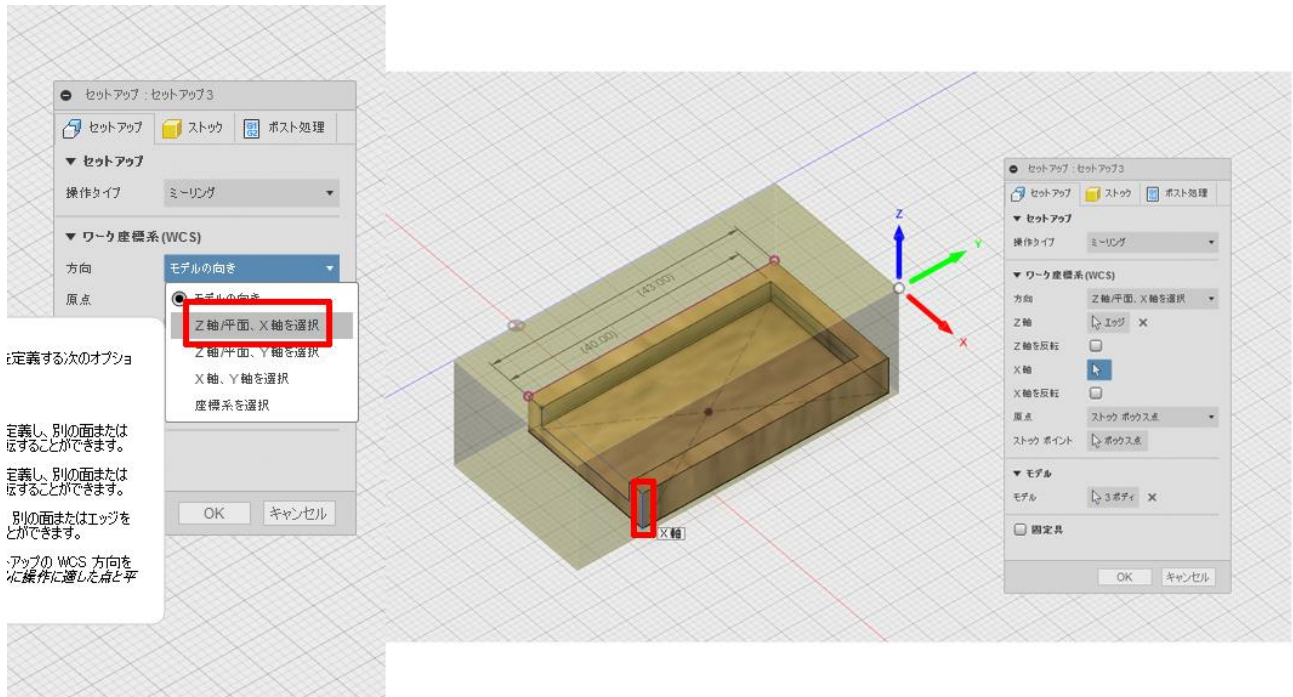
2 作業スペースを CAM に変更

画面左上のより作業スペースを CAM モードに変更します。

その後、左上アイコン「セットアップ」を選択します。



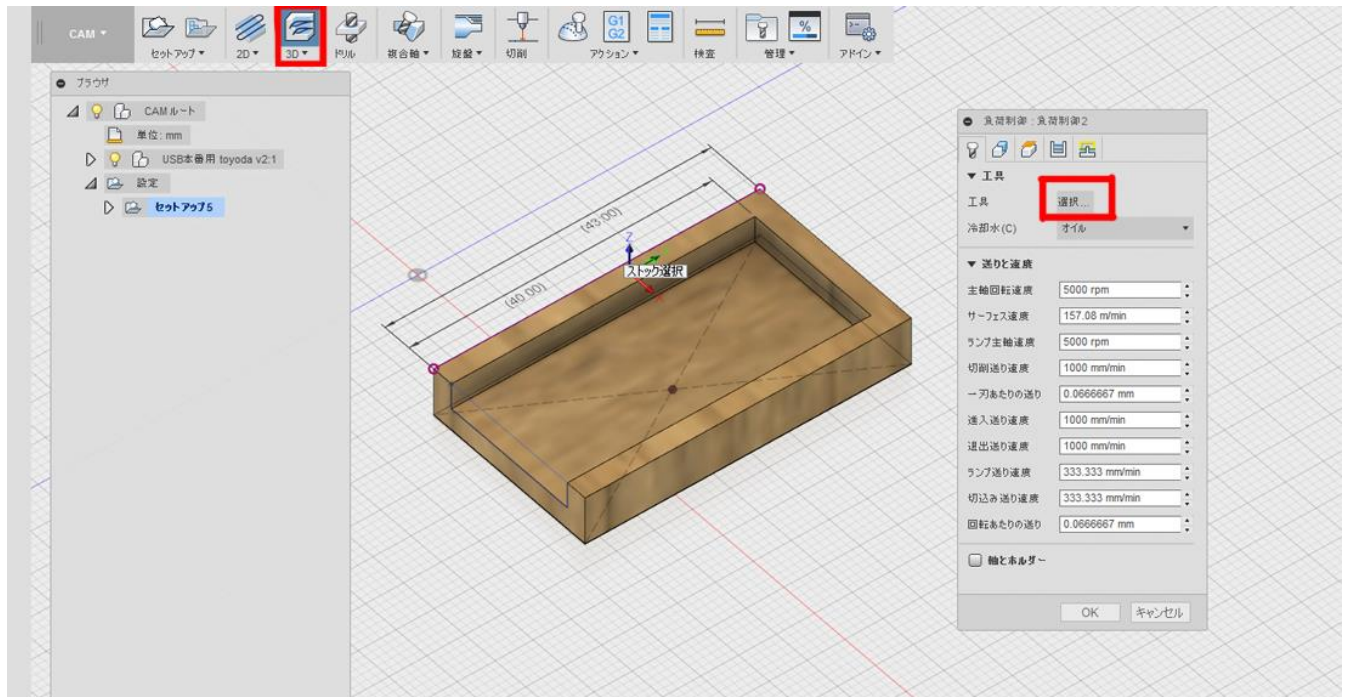
ワーク座標系メニューの「方向」より、モデルの Z 軸が天地方向になる様に変更します。作業平面に対して垂直なエッジを選択すると、Z 軸が変更されます。



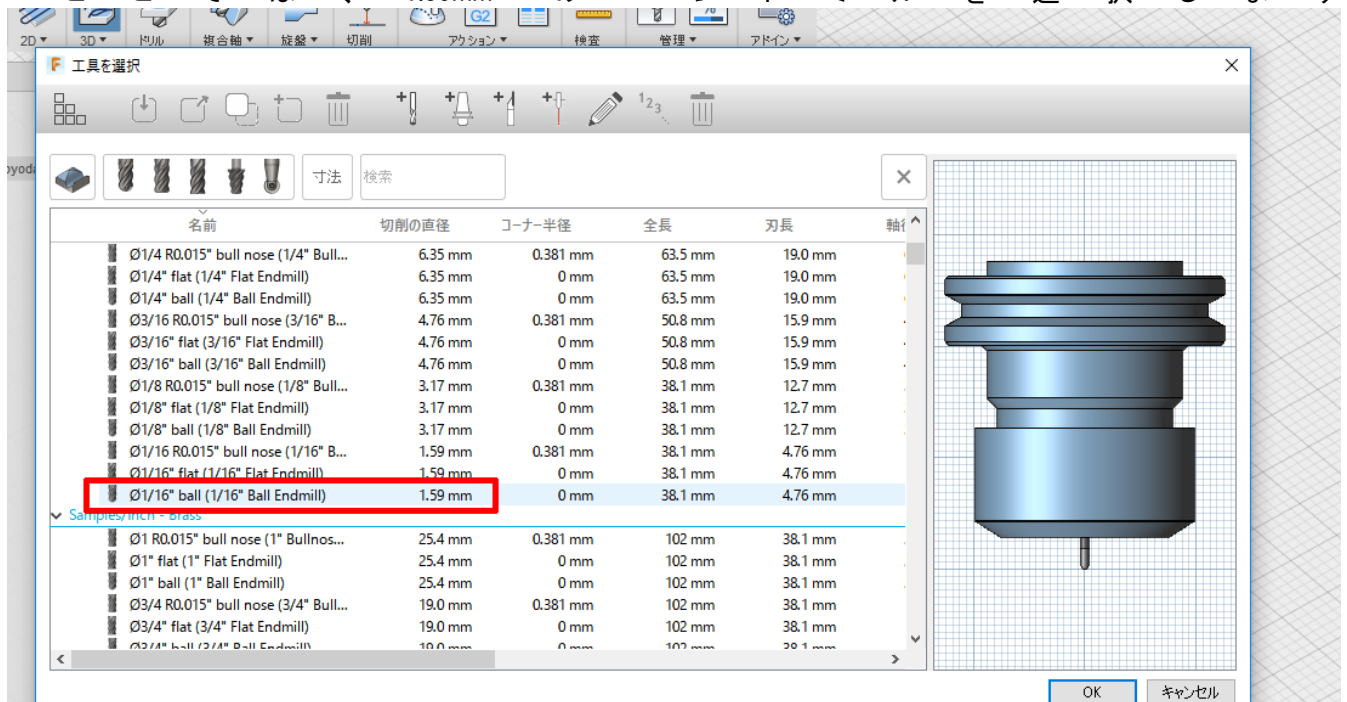
3 ツールパスの生成

画面上部メニューより、3D 負荷制御を選択

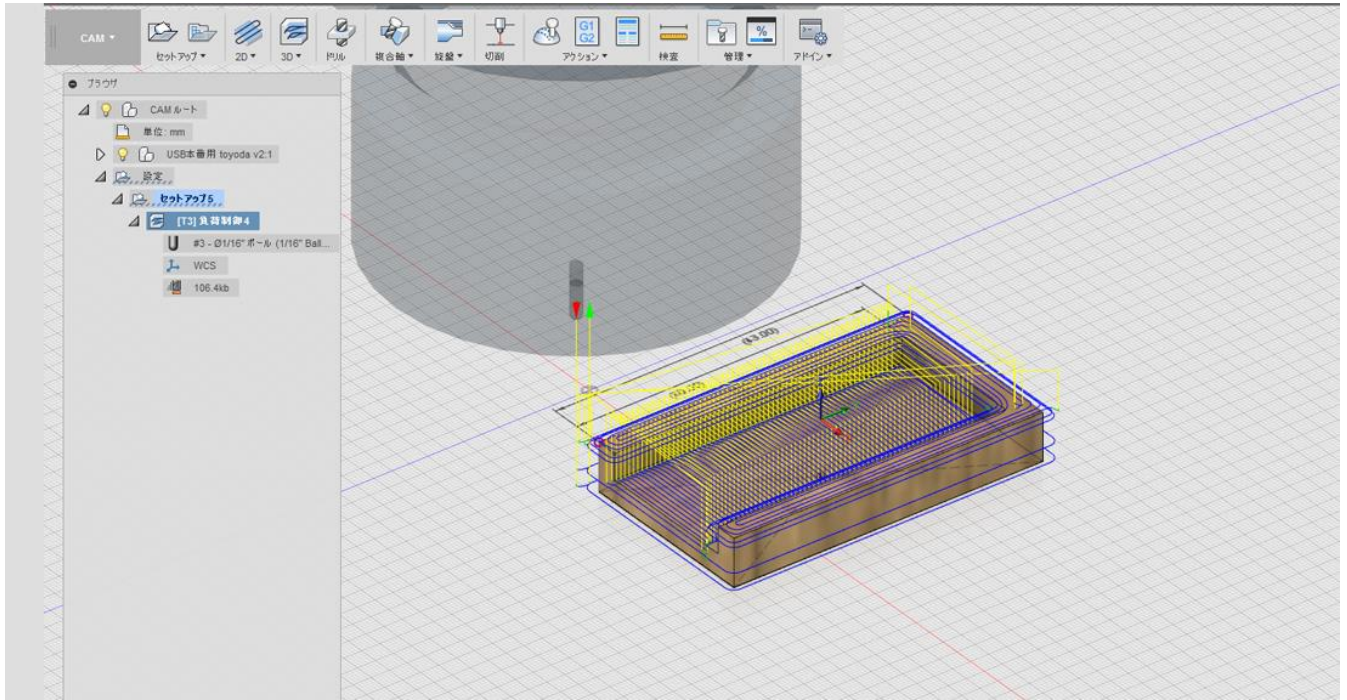
表示メニュー「工具」より、シミュレーションに使用するエンドミルを選択します。



ここでは、1.59mm のエンドミルを選択します

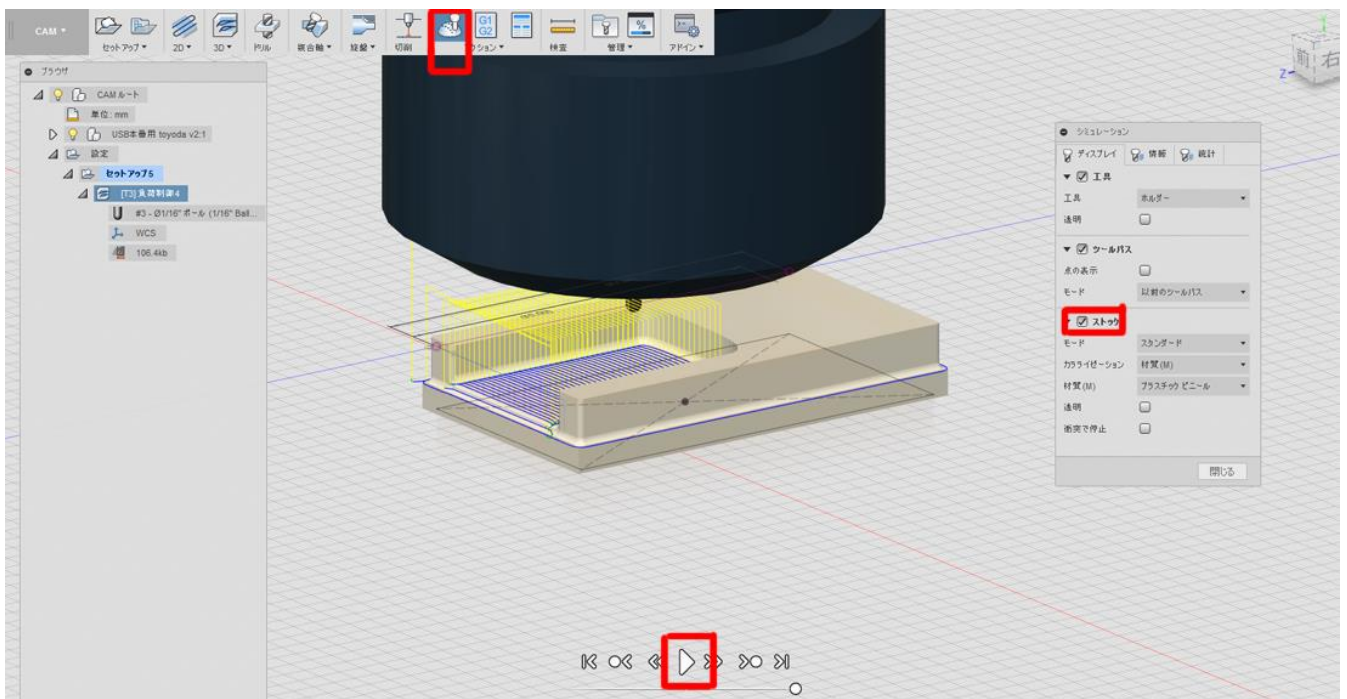


選択後、設定を完了すると、エンドミルが通るパスが生成されます。



4 アニメーションで再生

上部メニューより「シミュレーション」、表示メニューの「ストック」にチェックが入った状態で画面下部の再生ボタンを押すと、切削をシミュレートしたアニメーションが再生されます。



日本大学 芸術学部 デザイン学科
豊田 陽